

K A S

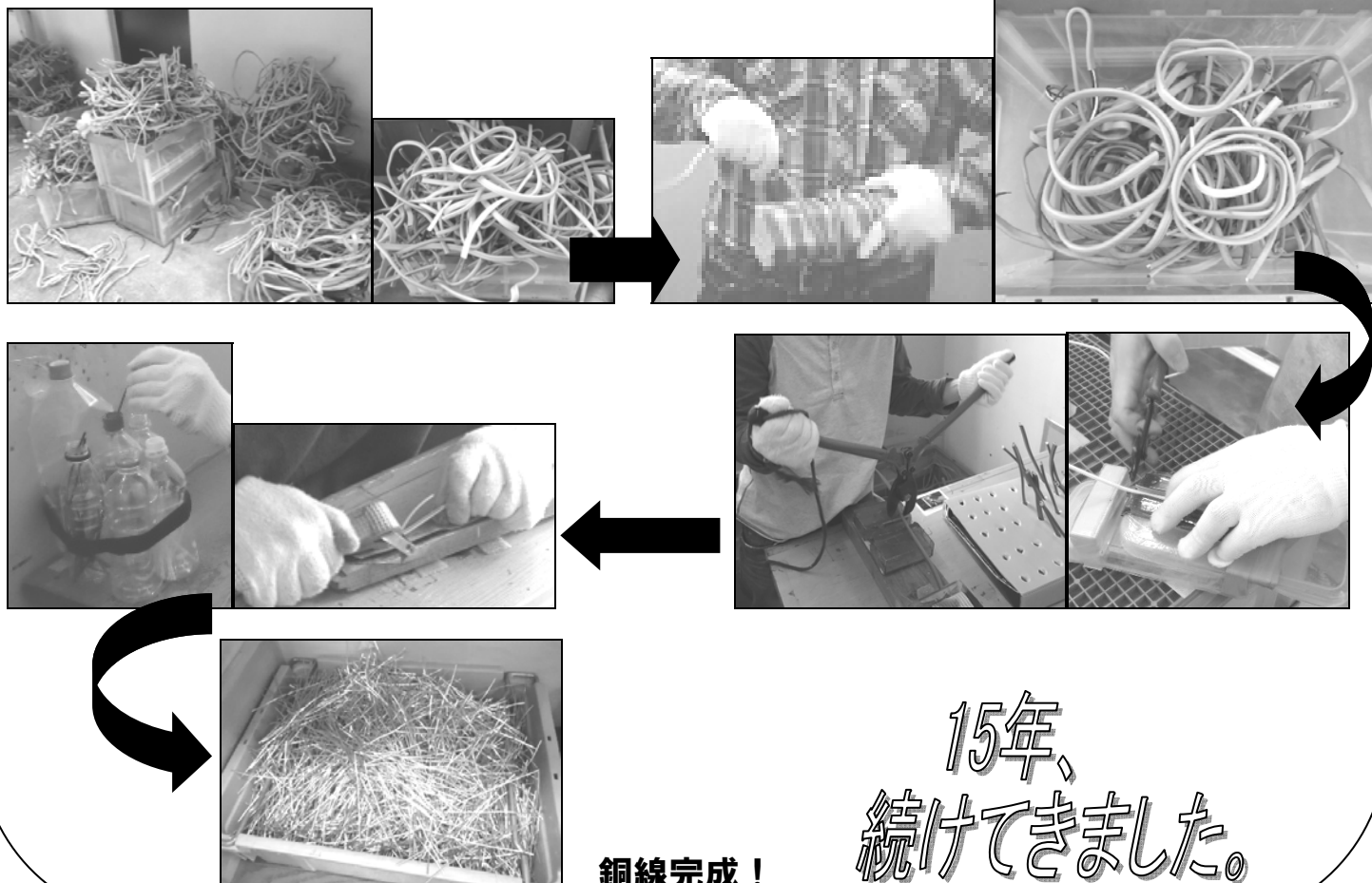
Cotton Up



こっとなあつぷ

Vol. 111

ふ 拭いてまとめてカットして ♪♪ む 剥いて仕分けて し わ どうせん ハイ銅線！！



銅線完成！

15年、
続けてきました。

目次

- | | |
|-------------------------|-----------|
| ・「TDSN34 ～継続が生み出すもの～」 | <2～3 ページ> |
| ・新任紹介 | <4 ページ> |
| ・2014 年度法人決算報告 | <5 ページ> |
| ・後援会のご案内・ボランティアさん大募集中！！ | <6 ページ> |
| ・編集後記（編集部） | <6 ページ> |

発行人 神奈川県自閉症児・者親の会連合会

代表者 内田照雄 〒243—0035 厚木市愛甲 2—11—6—109

（毎月 1 回 15 日発行） 購読料 1 部 15 円

TDSN (Tanpoponosato Daily Support News) 34 ～継続が生み出すもの～

当法人では、利用者一人ひとりが、より豊かで実りある生活を送ることを目指し、持っている能力を最大限発揮できるよう個別支援計画を基に個々の課題に取り組み、また社会人として、自分の得意なことを通して仕事をし、社会に貢献する活動を中心としています。以前から何度かご紹介しています、銅線解体作業もそのひとつです。気が付けば 15 年この作業を続けてきました。余談ですが、銅線解体作業の導入をこの誌面でお伝えしたのは、入職 1 ヶ月の私でした！この作業と共に、私は経験を積んできたんだなあとしみじみ。同時に、長らく受注させていただいていることに感謝しつつ、ひとつの作業を継続してきて感じることを、この銅線解体作業を基にお話させていただきます。

さて、長年この作業に携わってきた利用者の方々は、いわば銅線解体のスペシャリスト！この誌面でも、その人に合った道具や手順を用意することで新しい作業種を獲得できたことや、ケーブル皮剥きに使用する野菜の皮むきピーラーは、利用者が使い込むうちに、その人の力の入れ方や握る位置によって刃や取手の形状が変化し、ピーラーが変わるとすぐに気付いたり、持ち主以外はうまく使えないこともあるというお話をしてきました。

振り返れば受注当時、利用者の方々が行っていた作業は、主にケーブルの皮を剥くという工程でした。カットの工程もありましたが、職員が汚れを拭き取り、1 メートル以下の長さにカットしたケーブルを、3 分の 1 や半分に、手持ちの小さなニッパで裁断する作業でした。また、銅線と皮を分ける分別作業という、今ではお目にかかれない工程もありました（現在はみなさんが皮むきしながら分別しています）。

あれから 15 年（どこかで聞いたフレーズですね…笑）、受注から納品までの工程ほとんどを利用者の方々が行うようになりました。銅線解体作業のことを、私たちは普段「ケーブル作業」と一言で言いますが、受注から納品までおおまかに分けても、以下の通り複数の工程があります。

- ①軽トラックに乗り、ケーブルを受注する
- ②施設に到着したケーブルをコンテナなどに詰め作業場へ
砂などの汚れを拭き取り、カットしやすいようにまとめる
- ③長いものでは 10 メートルを超えるケーブルを、24 cm と 12 cm の長さにカットする
- ④数を数え、輪ゴムで束にする
- ⑤野菜の皮むきピーラーを使用し皮を剥く
- ⑥剥き出した銅線を黒ずんでいるものとそうでないものに分別する
- ⑦軽トラックで、銅線を業者へ納品する
- ⑧ケーブルゴミを捨てる

中でも、④数を数え、輪ゴムで束にするという工程は、受注を始めた頃はみなさんの作業量もそれほど多くなく、職員が 1 回量を数えて、それぞれの材料置き場に用意していました。その頃の私は、「銅線解体作業＝皮むき」と考え、数えや束ねはそのための下準備、職員の仕事という図式にとらわれていました。しかし段々とみなさんの作業量が増え、1 回 10 本だった方が 60 本、120 本と増えてくると、とても追いつかないのです。そこで、初めは少し申し訳ない気持ちで、ケーブル 60 本を輪ゴムで留めて束にすることも作業のひとつとし、その完成品を保管する箱を決めて、作業開始時に材料を自分で取りにきてもらうシステムを導入していきました。・・・とっても助かりました。心から感謝し、お疲れ様でしたとお伝えしました。と同時に、本来利用者ができることまで行ってしまい、プライドを傷つけてし

まったのではないかと反省させられました。

わたしたち法人では、ふぁずやわたげに通所し、いつもの机に座ると目の前に作業が用意されていて、それをやって帰る、それが仕事というふうには考えません。作業材料の受注や納品、道具や材料の準備、片付け、自分の作業場の清掃、さらには、ふぁずやわたげ全体の清掃など、それぞれの方が役割を持ち、自ら判断しながら、自律して活動することで、自分で出来る限りやり切ったという達成感や、周囲からの信頼や感謝を受けて感じる自信に繋がるのではないかと考えています。

思えば、作業自体のスキルは、みなさん早い段階から年々巧みになり、作業量も増えていきました。そしてこの数年でさらなる変化を感じています。それは、工程を分け流れ作業で行っているケーブル作業の、全体の流れを意識する利用者が増えてきたということです。

ふぁずでは、右の写真のように共有の材料置き場があります。多くの利用者は、ここから、自分が必要な数の材料を自分の作業机まで持って行き、作業を行います。

ある利用者が、この材料置き場を見て、不足しそうな皮むきの材料を準備してほしいと職員に訴えるようになりました。さらに、その材料準備を担っている利用者の作業状況を見に行ったり、職員がそろそろ受注の時期かなと思うと、受注日の確認をしてくるということも増えました。別の方は、数え作業の際、1 ケースでは足りないで途中で材料を追加しながら行っています。以前は、手元の材料がなくなると必ず「材料ください」カードを職員に見せていましたが、ある日、「検品してください」カードを持ってきました。共有の材料置き場に自分が必要としている材料がなくなったことを自分で確認し、材料がないので終わりと判断したのです。また、作業の目標数を自分で決めたり選ぶ事に取り組んでいる利用者もいます。長く続けて来たことで、自分がその日に出来る量やペースを、自分で感じるようになってきているのです。その他、次の受注や納品に行きたいと意思表示する方や、納品の準備時には進んでケーブル皮ゴミや銅線を運んだり、それぞれの利用者が、自分が関わっている仕事という意識を持っていることがさまざまな場面でうかがえるようになっていきます。



ふぁず 共有の材料置き場

支援で難しいのは、新しいスキルを獲得することよりも、精度を保ち継続していくことだと常々感じています。銅線解体作業においても、1つの作業種を続けていくうちに作業量が減ったり、雑になってくることがあります。職員は、複数の作業種に携わるスキルを獲得し、日ごと時間ごとに様々な作業種を行うことで常に新鮮味を持って行うことができるように支援したり、作業の励みとなるお給料等とのつながりを伝えるなど、ひとりひとりに合った方法で支援してきました。しかし一方で、慣れ親しんだ作業だからこそ、少し落ち着かない状態の時にその作業を続けていることで普段のリズムを取り戻すことや、自分の手元に集中するだけでなく、全体の流れや材料の動きを察知し、自分の判断で動くことができるようになってきているのだと思います。

現在の銅線解体作業では、支援者が「作業を提供する」というよりも、利用者自身が「作業をしに、わたげやふぁずに集まってくる」という言葉がしっくりくるような気がしています。多くの利用者が多くの作業スキルを獲得し、それを持続できるよう支援するとともに、スキルの成長に合わせて必要なくなった補助具や支援を外していくように常に評価をしていくことも、長く取り組む活動については重要な支援であると考えます。利用者の方々には、これからも、銅線解体のスペシャリストとして自信を持って作業に取りくんでいただきたいと願っています。

庄司恵美子

😊 新 任 紹 介 😊



4月から新しく入りました、對馬正太郎と申します。2013年度のわたげでの実習を経て、今回、新卒という形で入職しました。実習の際には、利用者の皆さんには大変お世話になり、たくさんのことを学ばせていただきました。今回、職員としてわたげで仕事できることがとても嬉しく思う一方で、とても緊張しています。利用者の皆さん一人ひとりとしっかり向き合いながら、利用者の皆さんの安心した生活のために尽力していく所存です。

趣味はバルーンアートと音楽鑑賞です。バルーンアートは幼稚園のころからやっており、気が向いたら一日中ひねっています。(そのため、朝からひねっていて、気づいたら夕方なんてこともしばしば…)音楽は気に入ればジャンル関係なく聞きます。最近はヒーリング系やインスト系にはまっています。また、カレーとから揚げ

は毎日でも食べれる勢いで大好物です。

まだまだ未熟者で、皆様にご迷惑をかけることが多くあると思いますが、どうぞよろしくお願い致します。

對馬正太郎

はじめまして。4月からふぁずで非常勤職員として勤務させていただいている岡本利文です。

生まれも育ちも三浦市の42歳です。

いままで、プレス工場、コンビニ、文房具店、ゴミ収集や分別の清掃の仕事など、さまざまな職種で働いてきました。

福祉の世界は、昔から少し興味がありましたが、全くわからない事ばかりですが、徐々に覚えていきたいと思っています。

利用者の方や職員の方たちにご迷惑をおかけしてしまわないように一日でも早く仕事に慣れ、信頼され、より良い支援が出来るように頑張っていきたいと思っていますので、よろしくお願いします。



6月から勤務しております、三谷小百合です。「わたげ」の利用者さんの支援をさせて頂いています。

…が、仕事に於いては先輩職員の方々に温かく支援して頂いている立場にもおります。これからも、今の気持ちを忘れずに、利用者さんに寄り添っていきたくと思っています。

私の前職は、障がい児(子供)に関わらせて頂いていたので、恐れることも時にはありましたが、今は大人の方々なので恐れることなく心穏やかに過ごしています。

家庭では、3人の子供たちを恐れているばかりです。

利用者さんと一緒に私も成長していきたいと思っています。どうぞ宜しくお願い致します。

2014年度法人決算報告

資 金 収 支 計 算 書

(自)平成26年 4月 1日 (至)平成27年 3月31日

勘 定 科 目		予 算	決 算	差 異
経常活動による収入	介護保険収入			0
	自立支援費等収入	118,728,000	118,923,194	-195,194
	利用料収入			0
	措置費収入			0
	運営費収入			0
	私的契約利用料収入			0
	補助事業等収入			0
	経常経費補助金収入	11,230,000	11,236,316	-6,316
	寄附金収入	575,100	575,100	0
	雑収入	3,218,210	3,226,611	-8,401
	借入金利息補助金収入	341,000	341,000	0
	受取利息配当金収入	115,140	115,642	-502
	会計単位間繰入金収入			0
	経理区分間繰入金収入	5,222,500	5,221,097	1,403
	経常収入計(1)	139,429,950	139,638,960	-209,010
	人件費支出	79,066,534	78,978,227	88,307
	事務費支出	16,123,863	16,142,250	-18,387
	事業費支出	9,849,556	9,845,719	3,837
	借入金利息支出	341,000	341,000	0
	経理区分間繰入金支出	5,222,500	5,221,097	1,403
施設整備による収入	経常活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	110,603,453	110,528,293	75,160
	施設整備等補助金収入	3,175,000	3,078,000	97,000
	施設整備等寄附金収入			0
	固定資産売却収入			0
	施設整備等収入計(4)	3,175,000	3,078,000	97,000
	固定資産取得支出	5,195,880	5,195,880	0
	元入金支出			0
	施設整備等支出計(5)	5,195,880	5,195,880	0
	施設整備投資資金収支差額(6)=(4)-(5)	-2,020,880	-2,117,880	97,000
	借入金収入			0
財務活動による収入	投資有価証券売却収入	8,000,000	8,000,000	0
	借入金元金償還補助金収入	4,125,000	4,125,000	0
	積立預金取崩収入			0
	その他の収入			0
	財務収入計(7)	12,125,000	12,125,000	0
	借入金元金償還金支出	5,500,000	5,500,000	0
	投資有価証券取得支出			0
	積立預金積立支出			0
	その他の支出			0
	流動資産評価減等による資金減少額等			0
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	財務支出計(8)	5,500,000	5,500,000	0
	財務活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	6,625,000	6,625,000	0
	予備費(10)			0
前期末支払資金残高(12)		170,814,888	170,814,888	0
当期末支払資金残高(11)+(12)		204,245,505	204,432,675	-187,170

事 業 活 動 収 支 計 算 書

(自)平成26年 4月 1日 (至)平成27年 3月31日

勘 定 科 目		本年度決算	前年度決算	増 減
事業活動による収入	介護保険収入			0
	自立支援費等収入	118,923,194	117,731,289	1,191,905
	利用料収入			0
	措置費収入			0
	運営費収入			0
	私的契約利用料収入			0
	補助事業等収入			0
	経常経費補助金収入	11,236,316	10,850,294	386,022
	寄附金収入	575,100	677,000	-101,900
	雑収入	2,447,601	2,981,336	-533,735
	借入金元金償還補助金収入	4,125,000	4,125,000	0
	引当金戻入			0
	国庫補助金等特別積立金取崩額	5,951,688	6,219,437	-267,749
	事業活動収入計(1)	143,258,899	142,584,356	674,543
	人件費支出	78,199,217	90,067,979	-11,868,762
	事務費支出	15,006,850	16,520,819	-1,513,969
	事業費支出	9,845,719	9,424,064	421,655
	減価償却費	8,646,302	9,010,798	-364,496
	徴収不能額			0
	引当金繰入	1,135,400	1,233,450	-98,050
事業活動外収入	事業活動支出計(2)	112,833,488	126,257,110	-13,423,622
	事業活動収支差額(3)=(1)-(2)	30,425,411	16,327,246	14,098,165
	借入金利息補助金収入	341,000	511,500	-170,500
	受取利息配当金収入	115,642	182,372	-66,730
	会計単位間繰入金収入			0
	経理区分間繰入金収入	5,221,097	5,077,000	144,097
	投資有価証券売却益(売却収入)			0
	有価証券売却益(売却収入)			0
	事業活動外収入計(4)	5,677,739	5,770,872	-93,133
	借入金利息支出	341,000	511,500	-170,500
特別収入	経理区分間繰入金支出	5,221,097	5,077,000	144,097
	投資有価証券売却損(売却原価)			0
	有価証券売却損(売却原価)			0
	資産評価損			0
	事業活動外支出計(5)	5,562,097	5,588,500	-26,403
	事業活動外収支差額(6)=(4)-(5)	115,642	182,372	-66,730
	経常収支差額(7)=(3)+(6)	30,541,053	16,509,618	14,031,435
	施設整備等補助金収入	3,078,000	210,000	2,868,000
	施設整備等寄附金収入			0
	固定資産売却益(売却収入)			0
特別支出	国庫補助金等特別積立金取崩額			0
	特別収入計(8)	3,078,000	210,000	2,868,000
	基本金組入額			0
	固定資産売却損・処分損(売却原価)			0
	国庫補助金等特別積立金積立額	3,078,000	210,000	2,868,000
	特別支出計(9)	3,078,000	210,000	2,868,000
	特別収支差額(10)=(8)-(9)	0	0	0
	当期活動収支差額(11)=(7)+(10)	30,541,053	16,509,618	14,031,435
	前期繰越活動収支差額(12)	215,723,990	199,214,372	16,509,618
	当期末繰越活動収支差額(13)=(11)+(12)	246,265,043	215,723,990	30,541,053
次期繰越活動収支差額	基本金取崩額(14)			0
	基本金組入額(15)			0
	その他の積立金取崩額(16)			0
	その他の積立金積立額(17)			0
	次期繰越活動収支差額(18)=(13)-(14)+(15)-(16)+(17)	246,265,043	215,723,990	30,541,053

脚注 ・国庫補助金等特別積立金積立額は、
こつんはうすのスプリンクラー設置に対する補助金である

貸 借 対 照 表

平成27年 3月31日現在

資 産 の 部		当年度末	前年度末	増 減
流動資産		212,699,182	174,591,287	38,107,895
現金預金	185,945,790	154,527,128	31,418,662	
有価証券	0	0	0	
未収金	25,660,888	18,858,005	6,802,883	
貯蔵品	0	0	0	
立替金	98,901	163,500	-64,599	
前払金	975,725	1,033,738	-58,013	
短期貸付金	0	0	0	
仮払金	17,878	8,916	8,962	
その他の流動資産	0	0	0	
固定資産		243,029,224	254,389,246	-11,360,022
基本財産		179,966,081	185,438,786	-5,472,705
建物	96,286,709	101,759,414	-5,472,705	
土地	83,679,372	83,679,372	0	
基本財産特定預金	0	0	0	
その他の固定資産		63,063,143	68,950,460	-5,887,317
建物	4,868,402	911,228	3,957,174	
構築物	2,320,081	2,592,430	-272,349	
機械及び装置	0	0	0	
車輛運搬具	1,682,946	3,574,586	-1,891,640	
器具及び備品	1,926,514	1,686,045	240,469	
土地	0	0	0	
建設仮勘定	0	0	0	
電話加入権・水道施設利用権	542,949	554,320	-11,371	
投資有価証券	0	8,000,000	-8,000,000	
長期貸付金	0	0	0	
公益事業会計元入金	0	0	0	
収益事業会計元入金	0	0	0	
人件費積立預金	8,000,000	8,000,000	0	
修繕費積立預金	12,000,000	12,000,000	0	
車両運搬具積立預金	4,000,000	4,000,000	0	
移行時特別積立預金	18,111,371	18,111,371	0	
その他の固定資産	9,610,880	9,520,480	90,400	
資産の部合計		455,728,406	428,980,533	26,747,873

負 債 の 部		当年度末	前年度末	増 減
流動負債		8,266,507	3,776,399	4,490,108
短期運営資金借入金	0	0	0	
未払金	7,619,383	2,800,241	4,819,142	
預り金	585,011	738,192	-153,181	
前受金	0	0	0	
仮受金	62,113	237,966	-175,853	
その他の流動負債	0	0	0	
固定負債		14,815,300	20,224,900	-5,409,600
設備資金借入金	5,500,000	11,000,000	-5,500,000	
長期運営資金借入金	0	0	0	
退職給与引当金	9,315,300	9,224,900	90,400	
負債の部合計		23,081,807	24,001,299	-919,492
純 資 産 の 部				
基本金		41,510,583	41,510,583	0
基本金	41,510,583	41,510,583	0	
国庫補助金等特別積立金	102,759,602	105,633,290	-2,873,688	
その他の積立金	42,111,371	42,111,371	0	
人件費積立金	8,000,000	8,000,000	0	
修繕積立金	12,000,000	12,000,000	0	
車両運搬具積立金	4,000,000	4,000,000	0	
移行時特別積立金	18,111,371	18,111,371	0	
次期繰越活動収支差額		246,265,043	215,723,990	30,541,053
次期繰越活動収支差額	246,265,043	215,723,990	30,541,053	
(うち当期活動収支差額)	30,541,053	16,509,618	14,031,435	
純資産の部合計		432,646,599	404,979,234	27,667,365
負債及び純資産の部合計		455,728,406	428,980,533	26,747,873

たんぽぽの郷後援会のご案内

たんぽぽの郷後援会は、横須賀・三浦地区に在住の「自閉症」という障害を伴った人たちが、ともに生きる仲間として、地域で生活していくために必要な支援に取り組んでいる【社会福祉法人横須賀たんぽぽの郷】の活動を支援する事を目的に組織されました。

▼ 年会費	個人会員	1口	3,000円
	団体会員	1口	10,000円

たんぽぽの郷後援会にご理解、ご協力くださる方は、下記の郵便為替口座をご利用ください。

郵便為替口座番号 00240-9-17474

郵便為替口座加入者名 たんぽぽの郷後援会



ボランティアさん 募集中

わたげ・ふぁず・こっこんはうすで

自閉症を伴う方々と一緒に何か活動してみませんか？

作業の検品、余暇活動の支援、清掃等

お手伝いをしていただける方がいましたら、ご連絡ください！！

〈連絡先〉

わ た げ 電話:046-844-0038 (担当:かいえだ)

E-mail : aag40690@hkg.odn.ne.jp

ふ あ ず 電話:046-888-3961 (担当:しょうじ)

E-mail: adz13970@ams.odn.ne.jp

こっとなはうす 電話:046-852-8355 (担当:いまうじ)

E-mail: tanpoonosato-ch-rg250e@jcom.home.ne.jp



編集後記 ～編集部～

いつもの帰り道の送迎ルート。道端にあるご夫妻が小さな犬、パピヨンの散歩をしている姿をお見かけすることが度々あります。私は送迎車を運転しながら「今日も見掛けたなあ」なんて思いながら通り過ぎることもしばしば。

ある日、線路手前で電車の通過を待っている最中、道端の先にいつも見掛けるご婦人が1人でパピヨン犬の散歩をしている姿を見掛け「今日は1人で散歩なんだあ」と思いながら見てみると、道端の途中からパピヨン犬が1歩も動かなくなってしまう様子。ご婦人は話し掛けても、リードを引っ張っても動こうとしないパピヨン犬。その後、驚きの光景が！ご婦人は、なんとパピヨン犬の耳元に携帯電話をかざし、その直後には何もなかったかの様にパピヨン犬が歩き出す光景を目にしました。ペットも家族の一員ですが、今やペットも携帯を耳にする時代になったかあ・・・私は思わず微笑んでしまいました。きっと、携帯電話の相手はいつも一緒に散歩してくれるご主人ではなかったのでしょうか。そんな想像をしながら通過して戻って来ました。夏は「暑い」の言葉数が多く、ダラダラとしてしまいがち。「ああ笑って、元気を貰ったなあ」と感じた私でした。

よおし、この夏は笑って暑い日々を乗り越えます！！

高橋

編 集 社会福祉法人 横須賀たんぽぽの郷 〒239-0824 横須賀市西浦賀3-13-21

TEL:046-844-0038/FAX : 046-844-0036 E-mail : aag40690@hkg.odn.ne.jp